








明治45年・大正元年(1912)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	1 釧路からの長距離電話線が音別郵便局まで延長される。	12 清朝滅亡
3	・ 釧路物産商組合が設立される。	
4	3 公会堂内に、釧路教育会附属図書館が設置される。 ・ 釧路木材商組合が設立される。	12 函館区大火、733戸焼失 29 夕張炭砒ガス爆発、死者269名
5	6 山下西洋洗濯店(後のエンパイア・クリーニング)が開業する。 15 衆議選で木下成太郎が当選する。(秋元は落選) ・ 真砂町に蕎麦店「東屋」(伊藤竹次郎)が開業する。 【東屋本店】 初代店舗は大正11年焼失。翌年再建された総二階建て延210坪の店舗	15 総選挙、政友211・国民95・中央31
		
6	1 徹別教育所附属湖畔特別教授場(後の阿寒湖小)が前田一步園の寄付により開設される。 3 釧路町立病院が米町から頓化へ移転改築され、落成式を行う。 15 函館—釧路間の第3・4列車に1等寝台車が連結される。 ・ 鈴木水産工場が入舟町で創業する。(後の北海水産工場)	
7	16 道議補選で厚岸町会議員の上田勘兵衛が当選する。 25 釧路中学校の敷地・建設費寄附を町会が議決する。  【庁立釧路中学校】 翌年4月、札幌二中・小樽商業と同時に開校した。	30 明治天皇崩御、「大正」と改元
8	30 第5回町会議員選挙(改選10名・増員4名)が実施される。	
10		5 網走線(池田—網走間)全通
11	1 釧路仏教各宗協和会が発足する。(大正6年に釧路慈徳会となる) 4 前年焼失の阿寒戸長役場が舌辛15線に新築されて開庁する。 ・ 米内活版所(後の米内印刷)が西幣舞8番地に開業する。	
12	・ 草野製軸所を引継ぎ、茅野製軸所が創業される。	20 室蘭町大火、471戸焼失 23 夕張炭砒ガス爆発、死者216名
(この年)		(この年)
	・ 鳥取村と舌辛村の村界問題が解決する。 ・ 釧路—根室間鉄道の実測が開始される。 ・ 各官庁や商店などで野球チームが作られ、朝野球が流行する。	・ 米価騰貴、下層民の生活困窮



大正2年(1913)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	4 天寧の富士製紙第4工場が焼失する。	
2	.. 野中賢三らの「ザクロ会」機関誌『凍野(ツンドラ)』が創刊される。	7 桂首相らが「立憲同志会」結成 11 第1次護憲運動により桂内閣総辞職
3	19 布教山令闡寺が法華寺と改称される。  【布教山法華寺】 大正15年に改築された 本堂・庫裡・納骨堂。	
4	8 庁立釧路中学校が開校し、入学式が行なわれる。	
5		4 函館区大火、1,532戸焼失
6	.. 立憲同志会の後藤新平、河野広中が遊説のため来町する。	
7	10 北海道拓殖銀行釧路支店が真砂町に開設される。  【拓殖銀行釧路支店】 「釧路港真砂町百廿八番地電話五五九番」とされる。昭和18年に釧路南支店と改称し、北大通出張所が釧路支店となる。	12 中国で「第2革命」、8月失敗し孫文が日本に亡命
	14 直別教育所が、直別尋常小学校に昇格する。 .. 政友会の杉田定一、戸水寛人が遊説のため来町する。	
8	10 道議選釧路支庁管内で佐藤国司・横田又九郎が当選する。 27 暴風雨の為、釧路沖でマグロ漁船18隻が沈没、63名が溺死する。 .. 武富町長が函館に転地治療の為、辞職する。	10 第5期道会議員選挙、政友27・新政9
11	16 釧路—函館間の直通旅客列車が東滝川経由となり、所要時間24時間25分で全線急行化される。(釧路—札幌間は14時間35分) .. 句会「六鳴社」が創立される。	10 釧路本線、滝川始点となり滝川—下富良野間営業開始
12	26 西幣舞75番地から出火し、286戸が焼失する。(死者1名)	
(この年)		(この年)
	.. 浜頭久太郎がトンケシで造船所を創業する。 .. 釧路沖で操業する内地の発動機付鮪漁船が増加する。 .. 句会「まりも吟社」が創立される。(『えぞにう』の母体となる) .. 厚岸鮮明寺の寺号を西幣舞の説教所に移し、公称を許可される。	.. 8月暴風雨・9月降霜等で全道大凶作


大正3年(1914)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>3 枝幸村長の林田則友が第6代町長に選出される。(23日、道庁認可)</p> <div style="text-align: center;">  <p>【林田則友町長】 大正7年、第7代町長に再選され、同9年から11年迄一代限りの区長となって市制施行に向けた多くの事業を成し遂げた。</p> </div>	
3	<p>2 鳥取村に本門法華説教所(後の本祥寺)が開設される。</p>	<p>24 山本内閣、シーメンス事件で総辞職</p>
4	<p>1 尺別村戸長役場が独立して開庁される。</p> <p>30 鮮明寺が、現在地へ移転する。</p> <p>・ 茅野鉄工場(漁船等の機械修理)が入舟町で開業する。</p>	<p>1 旭川に区制施行</p> <p>8 函館区大火、849戸焼失</p>
6	<p>・ 舌辛に曹洞宗布教所(後の仰嶺山西来寺)が開設される。</p>	<p>28 壕皇太子暗殺(サラエボ事件)</p>
7	<p>・ 飯塚城之助と嵯峨久が、各々漁業組合の貸付け資金で建造した発動機船による鮪流網漁業等始める。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【マグロの水揚げ風景】 この年から地元漁業者も発動機船での鮪流し網漁を始め、昭和4年にピークの300万貫(約1万1千ト)を水揚する。</p> </div>	<p>28 第1次世界大戦始まる</p>
8	<p>・ 根室線の釧路一厚岸間が着工される。</p> <p>・ ガソリンポンプが初めて導入され、消防組第5部に配置される。</p>	<p>23 日本、ドイツに宣戦布告</p>
9	<p>・ 城川竹次郎が湯波内で水稻の本格的収穫(反当籾8斗)に成功する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【当時のユツパナイでの田植え】 以後、上阿寒・下仁々志別等にも水稻耕作が広まった。</p> </div>	
10	<p>6 春採の安田炭砒が閉山し、安田商事釧路支店も閉鎖される。</p>	
11	<p>1 音別教育所が霧里尋常小学校(後の二俣小)と改称する。</p>	<p>28 新夕張炭砒ガス爆発、死者422名</p>
12		<p>15 福岡県方城炭砒ガス爆発、死者687名</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 釧路で初の常設映画館「敷島館」が真砂町で開業する。</p> <p>・ 尺別教育所が尺別尋常小学校と改称する。</p> <p>・ 林田町長が上水道敷設を計画し、関屋忠正に設計を依頼する。</p>	<p>・ 株価暴落、中小銀行取付・支払停止頻発</p> <p>・ 道内に腸チフス(死者356人)とパラチフス(死者115人)流行</p>



大正4年(1915)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	25 拓殖銀行釧路支店西幣舞派出所が開設される。(昭和7年に北大通出張所・同18年に釧路支店となる)	14 産牛馬組合法廃止、畜産組合法公布 18 中国政府に21ヶ条の要求
3	25 衆議選で、道議(根室)の小池仁郎が当選する。 .. 共立魚菜市場を譲り受け、釧路三鱗(株)魚菜市場が発足する。	25 総選挙、同志会153・政友108・国民27
4	1 白糠村(庶路村と合併)に2級町村制が施行され、独立して尺別村戸長役場が音別原野基線4番地に開庁される。 .. 知茶別特別教授場が開設される。(大正5年6月に廃止)	1 『北海道史』編纂着手(開道50年記念事業)
5	12 第一小学校出身者の「釧路青年会」が発足する。	25 日華条約調印(前後より日貨排斥運動)
6	13 三代目幣舞橋の渡橋式が行われる。	
7	.. 小川勇次郎が、道内では最初のハイヤー営業を始める。  【道内初の営業用自動車】 横浜からフォード8人乗り幌型中古車を買入れ開業した。	6 台南で抗日蜂起始まる
8	17 嵯峨久らにより釧路鮪流網組合が設立される。(大正9年に釧路発動機漁船組合となる) 30 第6回町会議員選挙(改選12名・補欠2名)が実施される。	
9	18 島村抱月・松井須磨子らの芸術座一行が共楽座で公演する。 23 写真同好会が森本金之丞宅で第1回展覧会を公開する。	15 内務・文部省、青年団体の指導育成・設置基準を共同訓令
11	10 「舊鳥取藩士 鳥取開村記念碑」と「忠魂碑」が建立される。 11 真砂町の大火で、47棟72戸が全焼する。	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> .. 阿寒郡第1回農産物品評会が舌辛尋常小学校で開催される。 .. 道立水産試験場釧路駐在所に所属する試験船が建造される。 .. 舌辛村の中久著呂に宮城団体が入植する。 .. 大楽毛家畜市場の年間取引が1,440頭・56,839円に達する。  <p>【大楽毛家畜市場】 昭和6年には3,900頭が取引され、「全国第一位の大市場」と称された。</p>		<ul style="list-style-type: none"> .. 輸出穀類の伸長等で道内景気回復傾向 .. 全国の自動車1,244台、自転車617,184台、人力車123,776台



大正5年(1916)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3	7 根室地方裁判所を移転し、釧路地方裁判所と改称する。 <ul style="list-style-type: none"> 第一銀行釧路支店が廃止され、拓銀釧路支店に業務譲渡される。 	18 北海道会法改正(任期3年を4年へ)
4	6 釧路少年団が公会堂で結成大会を開く。 10 地裁の移転に伴い、浦見町(現宮本町)に十勝監獄釧路出張所(8月5日に釧路分監と改称)が設置される。 25 北海道水産試験場釧路駐在所が釧路支場と改称される。 28 暴風雨のため、港内で荷役中の舢舨人夫11名が溺死する。 <ul style="list-style-type: none"> 正置運送部と釧標合資会社(後に川井運送部が替わる)の発動機船による釧路一標茶間の釧路川水運輸が始められる。 釧路郵便局に初めて電報配達用赤自転車3台配置される。 	2 友愛会磐城連合会結成(以降、横浜・東京・神戸等で地方連合会結成)
5	1 金比羅院の基となる不動堂が西幣舞40番地に創建される。 3 別保の大坂炭砒が買収され、三井鉱山(株)釧路炭砒となる。 29 鉄道1,000マイル(道内国鉄の総延長)記念式典が挙行される。 <ul style="list-style-type: none"> 二俣に真宗説教所が創立される。(昭和5年12月廃寺) 	3 帝國聯合教育會結成
6	29 産業組合法による尺別信用組合が設立される。(後の音別農協)	
7	9 第2回官民連合運動会が春採公園グラウンドで5年ぶりに開催される。 12 釧路産牛馬組合が釧路産牛馬畜産組合と改称する。 <ul style="list-style-type: none"> 雌阿寒岳の硫黄採掘が三浦繁松により再開される。 	
8	10 道議選釧路支庁管内で、佐藤国司・佐々木与兵衛が当選する。 <ul style="list-style-type: none"> 本多静六博士を林田町長が招き、春採公園の設計を依頼する。 	2 函館大火、1,763戸焼失 10 第6回道会議員選挙、同志会19・政友17
9		1 工場法施行
10	6 釧路港修築計画が改訂され、北防波堤の築造が追加される。 15 釧路第四尋常小学校(後の旭小学校)が開校する。  <p>【第四尋常小学校】 昭和6年制定の北原白秋作詞・山田耕筰作曲校歌の中の「第四、第四、第四」が、「旭、旭、旭」と変えられて歌い継がれた。</p>	6 閣議、北海道拓殖事業計画更訂案決定 10 立憲同志会外、憲政会結成(衆院過半数)
11	1 官設鉄道の旭川工場釧路派出所が、釧路鉄道工場と改称される。 <ul style="list-style-type: none"> 藤田石版所(後の藤田印刷)が開業する。 	
12	阿寒駅前には釧路支庁の樹木苗畑が設置される。	24 特別教育規程改正(教育所廃止)公布
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 舌辛村の中幌呂に香川団体が入植する。 尺別村の奥ムリ地区に福島団体9戸が入植する。 	<ul style="list-style-type: none"> 雑穀、澱粉等の活況で道内景気回復 貿易収支大幅黒字(内地出超3億7千万円) コレラ流行、国内死者7,482人



大正6年(1917)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	26 釧路興業無尽(株)が設立される。(昭和19年に北洋無尽へ統合)	24 暴風雪で後志沿岸の漁船転覆、死者160人
2		1 輪西製鉄所、北海道炭砒汽船と三井資本の北海道製鉄(株)となる
4	1 上大楽毛・穂弥平・湯波内の各簡易教育所が尋常小学校となる。 14 二俣墓地と火葬場が設置される。 20 衆院選で、小池仁郎が2選を果す。	20 総選挙、政友165・憲政121・国民35
5	5 尺別原野に「森林防火組合」が結成される。 .. 音別市街地区に「音別消防組」が創設される。	
8	24 アート・スミスが来釧し、高等飛行の妙技を披露する。  【「鳥人スミス」の曲芸飛行】 鳥取村の原野を会場として宙返り、錐揉み等を低空飛行で演じ、5万人の観客を大いに沸かしたと言う。	16 アート・スミスが函館で飛行、以降道内巡演
9	19 第1回釧路畜牛共進会が大楽毛家畜市場で開かれる。(～23日)	
10	10 尺別原野に「衛生組合」が結成される。 .. 木村久太郎が休業中の安田春鳥炭山を買収し、採炭を再開する。	1 東日本に台風、死者・行方不明1,300人
11	1 釧路慈徳会が創立され、更生保護事業を行なう。 .. 釧路教育會編『釧路國郷土誌』が発刊される。	7 ロシア10月革命、ソヴィエト政権樹立
12	1 根室線釧路一浜厚岸間が開業し、釧路駅を現在地に新築移転、旧釧路駅を浜釧路駅と改称して貨物専用駅とする。  【大正時代の釧路停車場】 .. 山浦政吉が阿寒湖畔駅通所を開設する。	21 福岡県桐野炭坑ガス爆発、死者361人
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> .. 鈴木水産工場を継承して北海水産(株)が設立され、発動機船2隻を建造し、機船底曳網漁を始める。 .. 安富甚吉が桂恋炭坑を再開する。(大正12年、太平洋炭砒が買収) .. 尺別炭山に弓道場が開設される。 .. 尺別村の霧里原野に福島団体が入植する。 .. 舌辛村の仁々志別に岐阜団体が入植する。 		<ul style="list-style-type: none"> .. 大戦で世界的な農産物暴騰、道内も雑穀・澱粉等の成金続出 .. 道内の義務教育就学率99%に達する .. 貿易収支黒字拡大(内地出超5億6千万円)

大正7年(1918)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦が運炭用馬車軌道を港頭まで、全線複線化する。  <p>【春採湖畔を走る複線化された馬車軌道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道興業(翌年3月富士製紙へ吸収合併)が、鳥取村の製紙工場と阿寒川の飽別発電所の建設に着手する。  <p>【「日本一ノ輸出紙 富士製紙釧路工場」図】</p>	
3	<p>13 林田則友が第7代町長に再選される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路築港に伴う阿寒川切替工事が竣工し、通水する。 	27 市町村義務教育費国庫負担法公布
4		1 北海道帝国大学開学
5	<ul style="list-style-type: none"> 音別市街で火災が発生し、18戸が焼失する。 	
7		23 富山県魚津町で米騒動
8	<p>30 第7回町会議員選挙(改選12名・補欠1名)が実施される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音別第二教育所がチャンベツに移転・新築される。 	<p>1 開道50年記念北海道博覧会(～9.19)</p> <p>2 政府、シベリア出兵宣言</p>
9	<p>1 音別第二教育所が第二尋常小学校となる。</p> <p>15 音別第二小学校附属上音別教授場が開設される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦の第1斜坑が開坑し、蒸気巻揚機で出炭を始める。 	<p>25 台風で道内の死者・行方不明37人、家屋全半壊1,691戸</p> <p>29 原敬内閣成立(初の本格的政党内閣)</p>
10	<p>7 湖畔尋常小学校が開校する。(木村組が建設し、町へ寄付する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 椎葉糺義が尺別炭砦を開坑する。(翌年6月に北日本鑛業となる) 	
11		9 ドイツ革命、11日第一次世界大戦終結
12	<p>25 西幣舞の現稲荷小路附近から出火、繁華街の86戸が焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦が知人に貯炭場と高架栈橋を造成する。 	6 大学令・改正高等学校令公布
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 大塚仙五郎がトンケシで大塚製材工場を創業する。 北海水産(株)が底曳網漁船6艘(内4艘は動力船)を建造し、前年からの底曳網漁を本格化する。(和船手繰漁業者も動力化に向かう) 本願寺鳥取説教所(後の誠行寺)が創建される。 舌辛村の徹別に和歌山団体が入植する。 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン風邪大流行、死者15万人 米騒動、7.23～9.17迄に37市・134町・139村で発生、検挙者数万人・起訴7,708人 貿易収支黒字、大戦中の4年間累計約14億円、貿易外収支も累計約10億円

大正8年(1919)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>3 西幣舞9番地から出火、491戸を焼失し、死者1名。(この大火を機に、幣舞通りと真砂町通り拡幅が町会で議決される。)</p> <p>.. 釧路中学校に校風刷新会の事件が起こる。</p>	<p>4 独でスパルタクス団蜂起(14日鎮圧)</p> <p>5 ドイツ労働者党(後のナチス)結成</p> <p>18 パリ講和会議(~6.28)</p>
3	<p>27 神道実行教釧路教会が西幣舞に創建される。</p>	<p>1 朝鮮で3・1運動、万歳事件</p>
4	<p>1 尺別村に2級町村制が施行され、尺別村役場が開設される。初代村長に戸長の結城源七郎が任命される。</p> <p>4 釧路産牛馬畜産組合が畜産奨励方針を決議する。</p> <p>4 阿寒の仰嶺山西来寺が公称認可される。</p> <p>10 合名会社敷島商會が設立される。(12年10月「福司」醸造開始)</p> <p>.. 聖パウロ教会の釧路幼稚園(13年に瑞穂幼稚園と改称、昭和6年休園)が開設される。(釧路初の幼稚園)</p>	<p>10 史蹟名勝天然記念物保存法公布</p>
	 <p>【釧路で最初の幼稚園:瑞穂幼稚園】 昭和6年9月「一時休園」とされたが、再開されずに昭和23年9月開園の頌栄保育園へ引き継がれた。</p>	
5	<p>1 第1回尺別村会議員選挙が実施される。(定数10名)</p> <p>17 庁立釧路高等女学校が第一小学校の一部を仮校舎として開校し、一期生の入学式が行なわれる。</p>	<p>4 第1回全国中等学校陸上競技選手権大会</p> <p>4 北京で5.4運動開始、日貨排斥運動拡大</p> <p>23 選挙法改正(納税資格10円を3円へ)公布、北海道の衆議定数6→16・選挙区6→12</p>
	 <p>【茂尻矢の庁立釧路高等女学校】 翌年1月31日、茂尻矢の第一小分教場(6月に第五小となる・後の城山小)隣に校舎が完成・移転し、10月19日に開校記念式が行なわれた。</p>	

	<p>12 釧路鉄道工場が幸町に移転・新築される。</p>  <p>【移転新築された 釧路鉄道工場】</p> <p>16 釧路郵便局が、1等局に昇格する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路教育會主催で、町内の校長・教員・少年団員70余名が雌阿寒岳登山を行なう。 </p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中戸川吉二の「イボタの蟲」が『新小説』に発表され、芥川龍之介等から高く評価される。 	<p>11 帯広に北海道製糖(株)設立 28 ベルサイユ講和条約調印</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国議会で、鉄道予定線が厚網線から釧網線に変更される。(大正11年に着工) 	
8	<p>30 尺別炭砒教育施設が、尺別尋常小学校付属特別教授場となる。</p>	<p>30 友愛会、大日本労働総同盟友愛会と改称</p>
9	<p>1 飽別(阿寒第1)発電所が運転を開始する。 2 音別工業(株)が設立され、製材工場を創業する。</p>	
10	<p>4 釧路警察署の職場句会「芙蓉会」が発足する。 20 富士製紙の飽別発電所等電気事業を分離し、富士電気(株)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 殖産興業無尽(株)釧路出張所(本社網走)が開設される。 </p>	
11	<p>25 根室線の厚岸―厚床間が開通する。 28 釧路政友倶楽部(政友会釧路支部)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米価が1升66銭まで暴騰し、町が貧窮世帯へ白米を廉売する。 </p>	<p>26 北海道道路令公布</p>
12	<p>7 雄別炭礦鉄道(株)の前身である北海炭礦鉄道(株)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 坂井木材合資会社が設立される。(後に日本5大枕木業者の一つとなるが、昭和の恐慌期に倒産する) </p>	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本多博士の春採公園造成計画により、国有未開地54町歩(後に84町歩)の払下げが決定する。 ・ 釧路電燈(株)が、北海道電気(株)に買収される。 ・ 曹洞宗鳥取説教所(後の宗仙寺)が創建される。 ・ 魚粕相場が暴落(大戦中は百石4千円が4百円に)し、北海水産(株)が倒産する。北海水産の底曳船を、次第浜出身の手繰船船頭らが各々買収し、機船底曳網漁の船主となる。 ・ 鳥取村1番組の鈴木新次郎が、稻荷社を創建する。(後の共栄稻荷神社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道庁、釧路・置戸・温根湯・富良野第一の各事業区で国有林の官行斫伐開始 ・ 全国で同盟罷業497件・63,137人参加、小作争議326件発生



大正9年(1920)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	13 第一小附属茂尻分教場(後の城山小)が開設される。	10 国際聯盟発足
3	3 オーロラ詩社が文芸座談会を開催する。	15 株価暴落、戦後恐慌始まる
4	1 尺別炭砦の石炭運搬用軽便軌道が完成し、貨物専用駅として釧路本線尺別駅が開業する。 5 釧路発動機漁船組合が設立される。 10 第二小附属大楽毛特別教授場(後の大楽毛小)が開設される。 22 木村組炭鉱と三井釧路炭鉱が合併、太平洋炭礦(株)を設立する。 .. 前田汽船を千賀竹三郎らが引継ぎ、東海汽船(株)を設立する。 .. 音別尋常小学校に「高等科」が併置される。	
5	5 神習教末広講社が設立される。 10 衆議選道9区(釧・根・河・網)で小池仁郎・木下成太郎が当選する。 .. 尺別炭砦の施設消防組が結成される。	2 日本最初のメーデー、上野公園で開催 10 総選挙、政友278・憲政110・国民29 24 シベリアのニコラエフスクで「尼港事件」
6	18 釧路実業同志会(憲政同志会釧路支部)が設立される。 22 第五尋常小学校(後の城山小)が開校する。 27 釧路町を分割し、別保地区等は釧路村(2級町村)として分村する。	14 夕張炭砦北上坑ガス爆発、死者209人
7	1 釧路町に道内6番目の区制が施行される。 .. 鳥取村の富士製紙(株)釧路工場が創業を開始する。	
8	9 豪雨で釧路川が氾濫して大洪水となり、橋北市街地の殆どが水没する。阿寒川は流路を変えて大楽毛川に合流する。  10 道議選釧路区で前田政八、管内で佐藤国司・徳田豊が当選する。 30 第1回区会議員選挙が実施される。(定数24名)	9 釧路支庁管内の洪水被害、死者・行方不明10人、家屋流失・全壊57戸、床上浸水1,437戸、橋梁流失22ヶ所 10 第7期道会議員選挙、政友31・憲政17
9	4 釧路川治水計画が決定され、釧路築港計画も港域が拡大される。	15 道庁、機船底曳網漁業取締規則公布
10	1 国勢調査で釧路区39,392人・鳥取村2,254人・舌辛村5,884人・尺別村5,628人とされる。 2 林田則友が初代区長に選出される。 9 鳥取神社が鳥取村43番地に社殿を造営し、遷座する。	1 第1回国勢調査、北海道人口2,359,183人 20 全日本鉱夫総联合会設立
12	24 日本基督教団釧路教会が浦見町に移転・新築される。	
(この年)		(この年)
		.. 道内生産額、工産物が農産物上回る

大正10年(1921)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<ul style="list-style-type: none"> 「青空(せいこう)画会」が創立され、第1回の展覧会が開かれる。 	12 大本教幹部、不敬罪等で一斉検挙
3	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖マリモと厚岸牡蠣島植物群落が天然記念物に指定される。 釧路体育協会が北海道体育協会の下部機関として発足する。 	10 北海道自治講習所規則制定(7.3.開所)
4	<ul style="list-style-type: none"> 11 阿寒神社が村社に列格される。  <p>【阿寒神社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 22 徹別中央小附属西徹別教授場(後の西徹別小)が開設される。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 水産会法公布 14 函館大火、2,041戸焼失
5	<ul style="list-style-type: none"> 1 第2回尺別村会議員選挙が実施される。(定数12名) 札幌通信講習所釧路支所が開設される。(昭和5年9月に廃止) 音別工業が火力発電所を開設し、音別市街地区に灯が点る。 直別畜牛組合が設立される。 	1 苫小牧大火、1,007戸焼失
6	<ul style="list-style-type: none"> 3 釧路郡漁業組合が、「釧路区西部」「釧路区東部」「釧路郡」の3漁組に分割される。 8 釧路川治水工事が着工される。  <p>【新水路掘削工事の様子】 現在の新釧路川沿いに線路が敷設され、機関車と掘削機で掘り進められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 20 釧路体育協会の初主催で、第6回官民連合運動会が開かれる。 	25 三菱内燃機神戸工場争議(7月、三菱・川崎造船に拡大・3万人余参加、7.14軍隊出動)
8	<ul style="list-style-type: none"> 5 西和田一根室間が営業開始し、根室線が全線開通する。釧路本線と根室線を合わせ、滝川一根室間を根室本線と改称する。 7 第1回全道青年団陸上競技大会で、釧路勢が総合2位となる。 全釧路軍・小樽庁商対抗陸上競技会が釧中グラウンドで開かれる。 	
9	14 (株)栗林商会釧路出張所が開設される。(15年1月三上に譲り撤退)	22 農商務省、機船底曳網漁業取締規則公布
10	<ul style="list-style-type: none"> 北海道電気(株)が北海道電燈(株)に吸収合併される。 村井組(後の村井建設)が創立され、雄別の炭住を建設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士電気、北海道電燈と改称
12	<ul style="list-style-type: none"> 舌辛に釧路営林区署の苗畑が設置される。 	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 釧路木材流送組合が設立される。 蛸の空釣延縄漁業が釧路沿岸一帯に普及し始める。 大町桂月が阿寒湖畔を訪ね、『文藝春秋』に漢詩を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北洋での蟹缶詰加工船創業始まる 全国で同盟罷業246件・58,225人参加、小作争議1,680件・145,898人参加


大正11年(1922)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 釧路郵便局の郵便通送員、吉良平治郎が吹雪の中で殉職する。 (責任感発露の模範として昭和5年に修身の教科書に採用された)</p> <p>【山本多助エカシ作 吉良平治郎像】 アイヌ民族精神の体现者としての人物像再評価が進められている。</p>  <p>28 釧路の観測史上第1位の最低気温-28.3度を記録する。</p>	
2	<p>21 富士製紙釧路工場の1号機がザラ紙の抄造を開始する。</p>	<p>・道庁長官、全道中学校長会議で「赤化思想防止」を指示</p>
3	<p>1 釧路一帯広間の電話が開通する。(札幌も通話可能となる)</p>	<p>3 全国水平社創立大会</p>
4	<p>1 尺別村が音別村と改称される。</p> <p>7 釧路川口両岸とトンケシ海岸97,029坪埋立て及び港内浚渫による岸壁造成の「釧路港湾整備計画書」が、区から道庁に提出される。</p> <p>11 改正鉄道敷設法で釧美線(釧路一相生間)が予定される。</p> <p>30 平戸前に鳥取小附属特別教授場が開設される。(後の北斗小) ・釧路土木派出所が釧路土木事務所に改称される。</p>	<p>9 日本農民組合創立</p> <p>11 改正鉄道敷設法公布(予定線149・内北海道22決定)</p> <p>16 道庁、旧土人児童教育規定廃止</p> <p>22 健康保険法公布(T15.7.1施行)</p>
5	<p>11 二俣市街地に二俣郵便局が設置される。</p>	<p>21 第1回全道中等学校陸上競技大会</p>
6	<p>18 第7回官民連合運動会の参加が30団体・選手2,000人に達する。</p>	
7	<p>7 徹別(阿寒第2)発電所が運転を開始する。</p> <p>17 摂政宮殿下(後の昭和天皇)が行啓される。(～19日)</p>  <p>【行在所の公会堂から釧路中学校視察に向かわれる摂政宮殿下】</p>	<p>8 摂政宮殿下、道内巡啓(～23日)</p> <p>15 日本共産党、非合法に創立大会</p> <p>17 有島武郎が農場を小作人に開放</p>


<p>8 1 市制が施行される。</p> <p>【市制施行を伝える『鉏路新聞』】</p> <p>17 鉏路支庁が鉏路国支庁と改称される。(昭和32年に復する) ・ 三上運送会社が豊嶋回漕店を吸収合併する。</p>	<p>1 道内6区を廃し、各市制を施行</p>
<p>9 30 西幣舞(現北大通14)に札幌鉄道局鉏路運輸事務所の新庁舎が竣工する。</p> <p>【幣舞橋通りの突き当りに建つ鉏路運輸事務所】</p>	
<p>10 3 舌辛—幌呂間の拓殖費支弁道路が開通する。 5 第1回市会議員選挙が実施される。(定数30名) 21 前田政八が初代市会議員長に選出される。 ・ 南防波堤が堤頭灯台以外は完成する。</p>	<p>14 「監獄」を「刑務所」と改称する勅令</p>
<p>11 28 真砂町より出火し、入船・幣舞・浦見へ延焼する。118棟146戸が焼失し、消火に当たった放水ポンプ自動車も焼損する。 ・ 市営住宅が、春採(現宮本)・浦見(現住吉)・西幣舞(現寿町)に合計100戸完成する。</p>	<p>18 アインシュタイン来日</p>
<p>12 12 初代市長に元滋賀県警察部長の二木千年が選出される。 ・ 栗林商船(株)鉏路出張所が開設される。 ・ 鉏路卓球協会が結成される。</p>	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 鉏路ハーモニカ・アンサンブルが創立される。 ・ 邦楽の鉏路市三曲演奏会が結成される。 ・ 二俣巡査駐在所が設置される。(請願巡査)</p>	<p>・ 全国で同盟罷業250件・41,503人参加、小作争議1,578件・125,750人参加</p>

大正12年(1923)


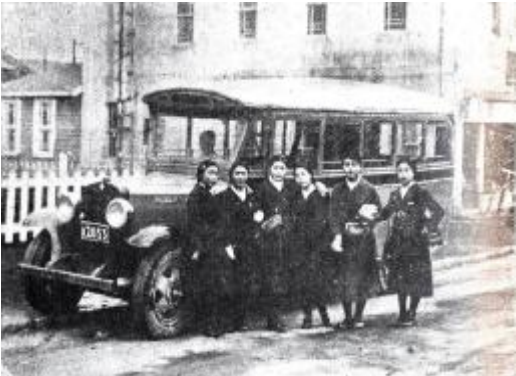


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>17 北海炭鑛鉄道(後の雄別鉄道)が、釧路―雄別炭山間の一般旅客貨物営業を開始する。</p>  <p>【雄別炭山駅を出発して釧路駅に向かうSLと客車】</p> <p>20 釧路臨港鉄道が敷設免許を申請する。</p> <p>31 西幣舞69番地より出火し、76棟141戸が焼失する。</p>	<p>27 婦人参政同盟、東京で結成</p>
2	<p>12 釧路土木建築請負業組合(後の釧路建設業協会)が発足する。</p>	<p>11 第1回全日本スキー選手権大会(小樽)</p>
3	<p>7 私立雄別尋常小学校が開校する。(昭和8年3月公立移管)</p> <p>20 霧里尋常小学校が二俣尋常小学校に改称される。</p>	<p>8 東京で、初の国際婦人デー集会</p>
4	<p>1 舌辛村(阿寒郡4村統合)と鳥取村に2級町村制が施行され、初代村長に、舌辛は松田尚二・鳥取は増川篠夫の各戸長が就任する。</p> <p>1 釧路商業中学校(釧路中学に併置された夜間課程)が開校する。</p> <p>14 音別神社の創立が許可され、社殿を新築移転し、無格社となる。</p> <p>30 古川忠一郎著『釧路発達史』が刊行される。</p>  <p>【釧路発達史】 後の市史編さんに大きな影響を与えた貴重な書である。記述は当時の釧路国全体に及ぶ。</p>	<p>1 戸長役場全廃、町村制施行(北海道は市6・1級町村99・2級町村155)</p>
5	<p>1 第3回音別村会議員選挙が実施される。(定数12名)</p> <p>10 鳥取村と舌辛村の第1回会議員選挙が実施される。</p> <p>17 巖島神社が県社に昇格する。</p>	<p>1 鉄道省、稚泊連絡船(稚内―現コルサコフ)運行開始</p> <p>15 農商務省、水産冷蔵奨励規則公布</p>


6	<p>30 二木市長が吏員16名を抜き打ち解雇する。 ・・ 春採小盛坑付近に定光寺の説教所(後の佛心寺)が開設される。</p>	28 道庁、土人救療規程公布
8	<p>1 市役所庁舎が幣舞町に落成、移転する。</p>  <p>【新築された釧路市役所】</p> <p>13 鳥取村消防組が認可され、鳥取132番地に器具置場を設ける。</p>	26 道庁、市場規則制定
9	<p>25 木材配送の為、釧路川河畔に天寧駅が開設される。(釧路—上別保間の本線より分岐する車扱貨物駅)</p>	<p>1 関東大震災(M7.9)、死者・行方不明10万5千人、家屋全壊・焼失47万戸</p> <p>28 道庁、土人救護規程公布</p>
10	<p>7 釧中の野球・陸上・柔道・剣道部が初めて根室に遠征する。</p>	
11	<p>20 釧路公共職業紹介所が西幣舞に開設される。</p>	<p>1 根室銀行等安田系11行、大合同</p> <p>25 北海道水産会設立</p>
12	<p>12 釧路臨港鉄道(株)が設立される。</p>  <p>【大正15年旅客運送開業当時の臨港鉄道の社屋と社員の面々】</p> <p>25 富士製紙工場岐線連絡の為、根室本線新富士駅が開業する。</p>	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・・ 舌辛の沢口炭砦が閉山する。 ・・ 市内22ヶ所の病・医院に土人救療所が道庁から囑託される。 ・・ 太平洋炭砦が桂恋炭砦を買収する。(本格出炭は昭和25～32年) ・・ 釧路の底曳網漁船15隻が新潟県沖での操業を始める。 ・・ オルケストラ・マドリニ・スティカディ・クシロが創立される。 ・・ 尺別炭砦で「唐傘争議」が起こる。 ・・ マグロ買取運搬船が釧路に回航し、本州への輸送を始める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・・ 道庁、前年迄土人病院4ヶ所開設補完の為土人救療所123ヶ所を囑託 ・・ 関東大震災で北海道への避難民16,580人 ・・ 全国で同盟罷業270件・36,259人参加、小作争議1,917件・134,503人参加

大正13年(1924)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>3 釧路で初めての全市民的な新年短歌会が公会堂で開かれる。 ・・ 俳人の臼田垂浪が来釧し、後の『えぞにう』創刊の基礎となる。</p>	<p>5 上歌志内炭砒ガス爆発、死者76人 10 政友会脱党議員、政友会本党結成し第1党</p>
2	<p>10 塚野公二郎が「情の宿」を開設する。(翌年に内田悟も加わり、昭和2年、釧路養老園となる。)</p>	
3	<p>26 雄別炭山郵便局(無集配)が設置される。 29 釧路郵便局から電話交換局が幣舞町(現大町2丁目)の新局舎に移転する。(電信部門は残る)</p> <p>【釧路郵便局電話分室】 「近代的な本館の壮麗さは複式交換機と相俟って真に理想的の建物である。」(当時の釧路新聞)</p>	
4	<p>1 十勝刑務所釧路支所が釧路刑務所と改称される。 2 北海炭砒鉄道(株)が三菱鉱業に買収され雄別炭砒鉄道(株)となる。 ・・ 市立病院が幣舞町に新築され、頓化から移転する。 ・・ 「音別消防組」が公設となる。</p>	
5	<p>10 衆議選道9区で小池仁郎・奥野小四郎が当選する。</p>	<p>10 総選挙、憲政151・政友本党109・政友会105</p>
6	<p>14 雄別尋常小学校大祥内分教場が開設される。(昭和14年9月廃校)</p>	
8	<p>9 釧路の観測史上第2位となる最高気温30.8度を記録する。 10 道議選市部で前田政八、郡部で伊藤八郎が当選する。 ・・ 根室本線の大楽毛鉄橋が4年ぶりに復旧する。</p>	<p>10 第8期道会議員選挙、憲政25・政友19</p>
9	<p>2 尺別炭砒に巡查駐在所が設置される。 6 舌辛小附属仁々志別特別教授場(後の仁々志別小)が開設される。</p>	
10	<p>・・ 直別一尺別間に拓殖道が完成する。</p>	
11	<p>4 釧根齒科医師会の設立総会が開かれる。 15 小池愛三らが「釧路短歌会」を発足させる。 15 南防波堤の堤頭灯台(赤灯台)が初点される。 27 釧路商業会議所の設立(入舟町8)が農商務省から認可される。</p>	<p>26 モンゴル人民共和国成立</p>
12	<p>12 アイヌ給与地整理・管理を行なう「舌辛互助組合」が設立される。 24 永久保秀二郎が、釧路にて死去する。(享年76才)</p>	<p>13 婦人参政権獲得期成同盟会結成</p>
(この年)		(この年)
	<p>・・ 太平洋炭砒が第2斜坑を開削する。(大正14年に閉鎖) ・・ 機船底曳網でスケトウダラが捕られ始め、スキミ製造が盛んになる。 ・・ 釧路相撲協会が結成される。 ・・ 貨物自動車による運送業が始まる。</p>	<p>・・ 貿易収支赤字、ピークの6億5千万円 ・・ 全国で同盟罷業295件・48,940人参加、小作争議1,532件・110,920人参加</p>

大正14年(1925)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		20 北京で日ソ基本条約調印(国交回復)
2	<p>1 尺別駅で一般貨物の取扱いを始める。</p> <p>2 今上陛下御成婚記念釧路市簡易図書館が公会堂内に開館する。</p> <p>12 釧路臨港鉄道の春採―知人間が営業開始する。</p> <p>21 西幣舞100番地から出火、81棟118戸が焼失する。</p> <p>24 釧路商業会議所の第1回議員総会が開催され、初代会頭に福井邦雄が就任する。</p>	
	<p>【釧路商工会議所】 昭和3年に釧路商工会議所と改称する。同6年、大川町埋立地に事務所(写真)を新築・移転する。</p> 	
3	<p>16 釧路臨港鉄道の別保―春採間が営業開始する。</p> <p>20 釧路自動車(株)が設立され、市内路線バスの運行を始める。</p>	1 (社)東京放送局、試験放送開始
	 <p>【乗合バスと車掌たち】 昭和9年に釧路乗合自動車(株)と改称、19年に8社統合で東邦交通となった。</p>	
4	<p>3 釧路で初の無産政党「釧路新政同盟」が結成される</p> <p>.. 中野回漕店(後の中野運輸)が開業する。</p>	22 治安維持法公布
5	<p>1 第4回音別村会議員選挙(定数12名)が実施される。</p> <p>10 鳥取村と舌辛村で第2回村会議員選挙が実施される。</p> <p>20 産業組合法による有限責任釧路信用組合(後の釧路信用金庫)が設立される。</p>	<p>5 普通選挙法(改正衆議院議員選挙法)公布</p> <p>22 総同盟分裂、日本労働組合評議会結成</p>
	 <p>【設立当初の釧路信用組合事務所】</p>  <p>【昭和5年、幣舞橋袂に移転・新築の釧路信用組合】</p>	

7	<p>1 発動機漁船組合が三鱗(株)魚菜市場を買収し、ミツウロコ(株)共同魚菜市場を設立する。</p> <p>4 第20回奥羽6県・北海道市長会議が釧路で開催される。(～6日)</p> <p>22 市消防組への火災連絡専用電話が開通する。</p> <p>27 舌辛に伊藤自動車部(後の阿寒バス)が設立され、舌辛―湖畔―北見相生間の旅客・貨物輸送を始める。</p>	1 蒋介石らの広東国民政府成立
8	23 釧路国支庁の新庁舎が竣工する。	1 青函航路、貨車輸送開始
9	<p>1 舌辛小附属第2特別教授場(後の下徹別小)が開設される。</p> <p>1 北海道立水産試験場釧路支場が廃止される。</p> <p>5 釧路埼灯台に吹鳴警報機(霧笛)が設置される。</p>  <p style="text-align: center;">【釧路埼灯台と霧笛信号】 口径80cm長さ4mのパイプを持つエアサイレン</p> <p>17 二木市長が愛知県内務部長に発令されて辞職する。</p> <p>20 雄別鉄道の湯波内(後の桜田)駅が開業する。</p>	20 東京6大学野球リーグ戦開始
10	<p>1 国勢調査で、釧路市42,332人・鳥取村4,844人・舌辛村10,305人・音別村5,028人とされる。</p> <p>.. 久本春雄が邦画「かく」で帝展に初入選する。</p>	<p>1 第2回国勢調査施行、北海道の人口は2,498,679人</p> <p>5 北海道美術協会、第1回道展開催</p>
11	<p>3 釧路労働組合が結成され、組合長に伊藤又吉が就任する。</p> <p>7 私立釧路裁縫伝習所が釧路女子技芸学校と改称し、支庁旧庁舎を改築して移転する。</p> <p>8 三井物産と新宮商行之共同出資による北海木材防腐(株)釧路工場が創立される。(道内最初の民営防腐会社)</p> <p>26 釧中生の同人雑誌『北方芸術』が創刊される。</p>	15 相生線(美幌―北見相生)全通
12	<p>7 岡本佃(前台湾総督府警務課長)が第2代市長に選出される。</p> <p>8 太平洋炭砒の知人高架棧橋が竣工し、石炭積出しを始める。</p> <p>23 蘇牛(阿寒第3)発電所が送電を開始する。</p>	<p>1 浅沼稻次郎ら農民労働党結成</p> <p>28 (財)大日本相撲協会設立</p>
(この年)		(この年)
	.. 釧路スケート協会が結成される。	<p>.. ラジオ聴取契約者、東京131,373人・大阪47,942人・名古屋14,290人</p> <p>.. 全国で同盟罷業270件・32,472人参加、小作争議2,206件・134,646人参加</p>